

天然化石サンゴ 肥料シリーズ

サンゴ粉末肥料 35-E/葉面散布剤 35-D
与那国島原産 天然化石サンゴ100%



「もっと早く使えばよかった…」 その違いは、豊富なミネラル。

沖縄県与那国島から産出された良質な「化石サンゴ」を100%使用。主成分の炭酸カルシウムに加え、与那国島化石サンゴは他に70種類以上もの豊富なミネラル(微量元素)を含んでいます。35-Eは天然素材をそのまま粉砕した、総合ミネラル肥料です。

与那国島の地層から採掘された化石サンゴは、年代が若く変質が少なく、サンゴの原型を保った状態で保存されます。



3つのポイント

1. あんしんの無添加
2. 年1回でもOK
3. 元肥で混ぜるだけ

製品特徴

豊富なミネラル

土壌微生物の生育を促進し、有機物の分解を促し、肥料の効果を高めます。

有害物の吸着

農業散布によって土壌中に沈澱した「重金属イオン」などの有害物を吸着する力が大きく、害を防ぎます。

多孔質

土をやわらかくし、根張りが良く異常気象に強い作物が出来ます。

中和作用

酸性土壌を、作物が生育していくのに適した弱酸性～中性に改善することができます。

土壌改良 / カルシウム・ミネラル補給

サンゴ粉末肥料 35-E



使用方法

下記を参考に、作物に応じてご使用ください。
標準使用量 10アール当たり(20kg/袋の場合)※参考

作物	標準使用量	散布方法	備考
水稲	10～15袋	全面散布	荒越し時
麦	8～10袋	全面散布	荒越し時
野菜類	10～15袋	全面散布	作条には半量
果樹	10～15袋		
イモ類	7～10袋	全面散布	作条には半量
マメ類	10～15袋	全面散布	作条には半量
芝	10～15袋	全面散布	作条には半量
牧草	8～10袋	全面散布	

酸性土壌を中性(pH(H₂O)6.8)に調整するための施用量の目安

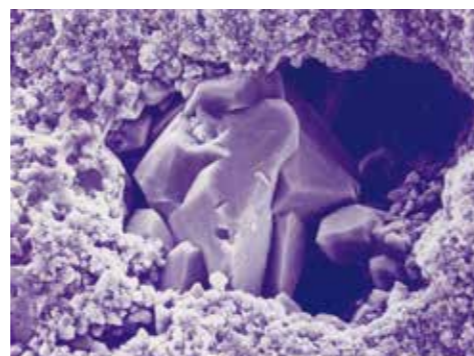
原土pH(H ₂ O)	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
施用量(10アール当たり)	1200kg	650kg	400kg	270kg	180kg
袋数(20kg/袋の場合)	60袋	33袋	20袋	14袋	9袋

※過剰による土壌への悪影響はございませんので、ご安心ください。

主要成分表

アルカリ分	55.92%	けい酸	0.59%	窒素全量	0.014%
カルシウム	55.40%	りん酸全量	0.14%	マンガン	0.0066%
可溶性カルシウム	54.85%	カリウム	0.13%	ほう素	0.0030%
マグネシウム	0.78%	鉄	0.11%	亜鉛	0.0019%
可溶性マグネシウム	0.77%	腐植酸	0.07%	銅	0.0012%
く溶性マグネシウム	0.76%	ナトリウム	0.06%	pH(1%w/v)	9.40

農水省「肥料分析法」による



成分表や生産者様のご使用状況

「与那国島化石サンゴの魅力」

- 右のQRコードでご紹介しています。



特殊肥料

肥料の種類	粗砕石灰石
肥料の名称	どなん
届出を受理した都道府県名	沖縄県 沖肥生第89号
生産業者の氏名又は名称及び住所	コーラルインターナショナル株式会社 沖縄県八重山郡与那国町字与那国4654番地
販売業者の氏名又は名称及び住所	株式会社タカミヤ 東京都中央区日本橋3-10-5
有機JAS別表1適合資材	

素早いカルシウム・ミネラル補給に！灌水使用もOK

35-Eと合わせて使えば、より効果的

- 作物のカルシウム生理障害を防止します。
- 収穫物の品質と日持ちを向上します。
- 果実類の酸度修正と糖度を改善します。
- 化学物質を吸着する力があります。

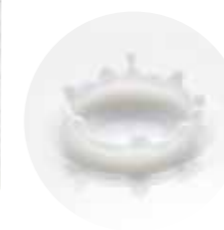
使用方法

希釈濃度	500～1500倍
散布間隔	野菜・花：1～2週間に1回 果樹：1～2週間に1回

よく振って
お使いください

灌水使用OK / カルシウム・ミネラル補給

葉面散布剤 35-D



散布方法

- カルシウム欠乏の予想される部位(花房、果実、新葉、生長点)へ散布する。
- 灌水として使用できます。

使用上の注意

- 農薬、殺虫剤と混合もしくは同時に使用しないでください。
- 症状、使用目的によって散布間隔をきめてください。
- 夏期高温時には日中の散布を避けてください。
- 沈殿物に多少のバラツキが有っても、内容成分は変わりません。
- 温度差によってカビ等が発生する事がありますが、品質には問題ありません。
- ご使用時に目や口に入っても、人体に害を及ぼす影響はありません。安心してご利用ください。